

議会だより

No. 131

令和8年2月1日発行
(2026年)

もろやま

MOROYAMA ASSEMBLY NEWS

表紙の作品

第6回観光協会観光フォトグランプリより

題 名『笑顔の乗り子』

撮影者：梶山 奈未さん

撮影場所：岩井西

- | | |
|-------|---------------------|
| 2P | 議長年頭あいさつ、臨時会開催 |
| 3P | 12月議会ではこんなことが決まりました |
| 4P | 常任委員会レポート |
| 5～11P | 一般質問13名が登壇 |

発行／毛呂山町議会 編集／毛呂山町議会だより編集委員会
〒350-0493 埼玉県入間郡毛呂山町中央2丁目1番地
☎049-295-2112

バックナンバーはこちらです⇒



議会の声を動画で届けます!!

YouTube 配信はコチラから ⇒



○議会だよりは議員の自主編集により発行しています。



本年もよろしくお願いたします



年頭あいさつ



平野 隆 議長

新年あけましておめでとうございます。

町民皆様におかれましては令和8年の新春をつつがなくお迎えのことと、心よりお慶びを申し上げます。また、昨年中は本町議会に対し多大なるご理解と温かいご支援を賜り心より感謝申し上げます。今後とも町民生活向上のため、各議員共々、議会活動に精励して参ります。

さて、昨年を振り返りますと、政治の世界では日本初の女性総理として高市早苗総理大臣が誕生しました。そのことに伴い長年続いた自公連立から自民維新の連立へと変わり、今後の政治運営が注目されるところで

日本を取り巻く世界情勢は激動の時代でもありました。世界を揺るがすトランプ関税、また、中国との問題、そして国内に目を向けると長引く物価高、また、熊の問題では大きな被害が出ました。今後の国、自治体の対応が注目されるところであります。

再生の年と言われた蛇年も終わり、新たに午年がスタートしましたが、午年といえ、歴史を揺るがす大きな出来事が起こる年と言われている。古い物が壊れ、新しいものが生まれるそんな年だと言われている。

町民皆さまにおかれましては令和8年が素晴らしい飛躍の年となりますようご期待申し上げますとともに、皆様方の今後より一層のご多幸を心よりご祈念申し上げます。



臨時議会

物価高騰対応等補正予算3億3715万円

修正可決

臨時交付金を活用した事業

- ・水道基本料金無償化事業
 - ・高齢者物価高騰対策支援事業
 - ・子育てもろっ子応援事業
 - ・住宅用防犯対策補助事業
 - ・小中学校給食費無償化事業
- その他に、一般財源から「さくらまつり」事業費250万円の予算が計上されました。

主な質疑

Q 水道基本料金の無償化は、どの世帯が対象で、なぜこの方法を選んだのか。

A 全世帯・事業所を対象に6か月間無償化する。迅速に広く支援でき、事務負担が少ない方法として判断した。

Q 高齢者への支援内容と、その考え方は。

A 65歳以上を対象に1人5千円を支給する。高齢化率が高い町の実情を踏まえた支援である。

Q アレルギー等で給食を喫食できない児童への支援は。

A 対象児童生徒は11人、年間費用は約66万円と把握している。教育の公平性の観点から、近隣自治体事例を調査し、今後も検討を続ける。

「さくらまつり」予算計上に異論！修正案を全員賛成可決！

提案理由

本補正予算は、国の物価高騰対策給付金に対応するため緊急性をもって編成された点は理解でき、迅速な対応の必要性にも異論はない。しかし、物価対策と直接関係のない、さくらまつり事業の予算が含まれており、補正予算の趣旨と整合していない。観光振興事業は、本来、事業内容や効果、財源の妥当性を十分に示した上で、計画的に予算計上すべきである。緊急性を理由とする補正予算に性格の異なる事業を組み込むことは、予算の透明性を損ない、議会審議を形骸化させるおそれがある。このため、さくらまつり関連予算は本補正予算から切り離し、改めて十分な説明を伴って審議すべきと考え、削除する修正動議を提出する。

発議者

下田 泰章 議員
佐藤 秀樹 議員
澤田 巖 議員
中村 奨平 議員

討論～私はこう考える～

賛成します

佐藤 秀樹 議員
本補正予算は物価高騰対策として町民生活を支える重要なものである。一方、さくらまつり事業は事業計画や説明がないまま一般財源から計上され、内容も不明確で税金投入に賛成できない。物価対策予算を守るため、当該事業を削除する修正案に賛成する。

12月 議会定例会

令和7年12月定例会は12月1日から12月5日までの5日間の会期で開催されました。今定例会に提案された案件は、条例の一部改正4件、補正予算5件、指定管理1件、人事1件、合計11件が上程され慎重なる審議をいたしました。
一般質問は13名の議員が登壇し活発な質問が展開されました。

補正予算額 1億4396万円可決！ 町長車購入や障害福祉費の増加など

公用車（町長車）購入
予算額 445万円
車種 ヴェルファイア（予定）
これまでの経緯と選定方針
令和7年3月議会に当初予算（案）として「町長公用車借上げ料」を計上していましたが、削除する修正案が可決されました。現在の町長車はたびたび故障し、早急に購入する必要があるとあります。公用車の選定にあたっては、新車購入の場合には納車まで期間を要するため、予算議決後、即納車が可能になる中古車としました。環境性能に優れたEV、ハイブリッド車を積極的に検討し、予算の範囲内で購入します。

障害福祉費 予算額
介護給付費・訓練等給付費
1億222万円
障害児通所給付費
1794万9千円

Q 障害福祉関係で、介護給付費、訓練等給付費の補正が1億円を超えているが、その理由は、
A 親の高齢化や近隣に支援者が不在となり、サービスの需要が増加した。

Q 中古車ではなく、ランクを下けた新車という選択はなかったか。
A 新車だとしても時間がかかる。長いものでは半年、あるいは早くても3か月かかり、危機管理上判断した。

条例改正可決

総合公園などの使用料・手数料を変更します

令和8年4月1日より、総合公園、体育施設、福祉会館、中央公民館、東公民館、オートキャンプ場、固定資産台帳兼名寄帳などの使用料・手数料が改定されます。見直しによる効果額は、443万4千円となります。

Q オートキャンプ場の指定管理者等と使用料の協議はしたか。
A 指定管理者である観光協会とは十分に調整している。

討論／私はこう考える／
反対します
岡野 勉 議員
毎月勤労統計は実質賃金が9か月連続で減少、賃金の伸びが物価上昇に追いついていない状況だと報じた。この生活実態にあつて、一番生活に近い地方自治体が物価高騰に抗い、町民の生活を守る気概が求められている。公共料金の値上げは、町民の文化、教養、趣味、健康に加えサイクル、クラブの存続を奪うリスクを伴う。

佐島 啓晋 議員
受益者負担比率が1・8%で、近隣市町村と比べると格段と低いような説明を受けた。利用率が低いと経常収益が低くなるので、ひとり当たりの負担額が低いものではない。利用料の引き上げが、利用者数を減少させ、より受益者負担比率が低下することすら考えられる。この時期の値上げには町民の理解が得られないので反対する。

福祉会館指定管理者の継続が決まりました。



指定管理者となる団体
株式会社 サンワックス
代表取締役 野原 治人
指定の期間
令和8年4月1日から
令和13年3月31日まで
指定管理料（5年間）
2億601万8千円

●主な施設の改訂内容（一部抜粋）

施設名		現行	改正後
中央公民館 (2時間)	展示室	400円	500円
	視聴覚室	500円	800円
東公民館 (2時間)	ギャラリー	400円	700円
	視聴覚室	300円	500円
総合公園メインアリーナ (全面/1時間) ※空調設備は別途		1,800円	2,200円
福祉会館展示室 (午前9時～12時まで)		2,000円	3,500円



行政視察レポート

総務文教常任委員会は令和7年10月9・10日(長野県)、生活福祉常任委員会は10月15・16日(千葉県)にそれぞれ先進自治体の取り組みを調査しました。

総務文教常任委員会

移住定住施策に対する取り組みについて (長野県南箕輪村)

南箕輪村は、人口の約7割が移住者であり「移住者が増えた後、どう対応するか」を念頭に置き、現在自治会の改革を進めています。当町においても定住促進並びに自治会の運営支援は重要な課題であり、先進自治体の取り組み状況を調査・視察を実施しました。



自治会運営に改革を！

A I デマンド交通の取り組みについて (長野県諏訪市)



気軽に効率よく移動ができる

長野県諏訪市のA I オンデマンド交通『チョイソコかりんちゃん』は、利用者の予約があった時だけ運行する乗合型デマンド交通です。決まった時刻表や決まった路線はなく、利用者の予約に合わせて、市内のバス停のうち、乗りたいバス停から行きたいバス停まで運行しています。

当町においても、デマンド交通導入を求める請願が提出されるなど、町民から導入を望む声が寄せられており、先進自治体の取り組み状況を調査・視察を実施しました。

生活福祉常任委員会

子育て支援の取り組みについて (千葉県多古町)

多古町では、急速な人口減少と少子高齢化への対応を最重要課題と位置付け、子育て世帯の経済的・環境的負担を総合的に軽減する施策を戦略的に展開しています。平成26年の「多古こども園」開園により町内の幼稚園4園、保育所3所を統合し、以後、医療費や給食費の無償化、待機児童ゼロの維持など、いわゆる「三つのゼロ」(給食費ゼロ、医療費ゼロ、待機児童ゼロ)を柱とした子育て支援のブランディングを進め、「多古で子育て」というキャッチフレーズとともに町内外へ分かりやすく発信していました。



子育て世帯に選ばれる町へ！

リノベーションまちづくり推進事業の取り組みについて (千葉県館山市)



有効活用しているリノベーション物件

館山市では中心市街地における商店街の衰退、空き店舗や空き家等の増加によるまちの空洞化、コミュニティの崩壊等が課題となっていました。館山市のリノベーションまちづくりは、まちなかの空き店舗や空き家などの遊休不動産について、企業や創業意欲のある人材が新しい使い方により、まちを再生する事業です。当初から行政主導で始まったものではなく、地域課題の解決を見据えて民間主導でプロジェクトが発足した官民連携事業であり、中心市街地の賑わい回復を目指していました。

一般質問

町政を問う！ ～13名が登壇～

- 自然環境の保全
- 教育・子育て環境の充実
- 定住促進施策
- 障がい者福祉の充実
- 川角駅周辺地区整備事業

小峰 明雄

- 学校統合問題
- 物価高騰対策
- 職務分析と人材育成

堀江 快治

- 都市計画マスタープラン・立地適正化計画の改定にあたりこれまでの評価検証及び特徴的な改定内容

長瀬 衛

- 子育て世帯への経済的支援
- 避難所環境充実等の効果検証

荒木かおる

- 不登校・いじめ問題
- 障害者手帳のカード化推進
- 民生委員の担い手確保の取組み

千葉三津子

- 私道の町道化
- もろバスのベンチ
- 町の公園の除草
- デマンドタクシー
- 学校統廃合

小野 浩

- 街づくり
- HPVワクチン接種および行政による発信力
- 川角駅北側整備

中村 奨平

- 防犯対策機器補助制度の見直し
- 公共施設使用料・手数料の見直しに伴う影響
- 行政が描く自治会運営の未来図は

下田 泰章

- 小中学生の自殺と進路指導

佐島 啓晋

- コンパクトシティ構想の現実と中心市街地・団地の再構築
- 公共施設使用料

佐藤 秀樹

- 町の防犯対策
- 高市政権誕生による町政運営への影響は

高橋 達夫

- 毛呂山町の小中一貫校

岡野 勉

- 結婚支援や少子化対策等
- 伝統文化財への支援策

澤田 巖

※一般質問の本文は、主な質問と答弁を本人が編集しています。
文字数の関係上、簡略化しています。詳細はYoutubeへ。



特定外来生物の被害対策・住民周知は被害を抑えるよう努める



小峰 明雄

問 外来種の害虫クビアカツヤカミキリやチュウゴクアミガサハゴロモの被害対策・住民周知

答 パトロールを強化し、ウメ、サクラの被害の抑制に努める。

問 連続120回目の一般質問。令和8年度当初予算編成、教育内容の充実で主な重要施策は。

答 小学生ステップアップ教室、中学生学力アップ教室等の実施により、基礎学力の向上を図る。

問 海外留学事業の検証は必要。令和4年度・5年度実施の海外留学疑似体験の成果・検証は。

答 アンケートにおいて参加した生徒の90%以上が楽しかった。

問 食料品等の高騰が続くが、アレルギー等でお弁当を持参して、喫食する児童生徒の保護者の経済的負担や平等を鑑みると学校給食費相当額の補助は。

答 平等の観点から検討する。

問 令和8年度当初予算編成、子育て環境の充実、重要施策は。

答 児童館では土曜日の小学生対象事業を拡充。

問 子育て支援策としてチャイルドシートの設置補助は。

答 安全面の観点から鋭意検討。

問 来年度、国に於いて小学生の給食費無償化を実施した場合、中学校の制服の無償化は。

答 積極的に実施に向けて担当課と検討。

問 朝霞市では、聴覚や発話が不自由な方に手話リンクを県内で初導入、所見は。

答 導入に向けて検討。

問 川角駅周辺地区整備事業で下川原地区要望の町道第4002号路線の豪雨での冠水を含めた整備は。

答 当該箇所の雨水排水対策の実施を検討。



提供：埼玉県環境科学国際センター

特定外来生物の被害調査・駆除対策を

学校統合の条例改正時期はいつなのか！

答 総事業費の概算金額を示したうえで検討



堀江 快治

問 今後も少子化が進行していく中で、新築校舎の建設等には到底理解ができない。今後想定される学校統合に関するスケジュールについて伺う。

答 令和8年1月中旬に概算金額を示し、その後条例改正議案の提出時期を検討していく。

問 令和8年度当初予算には川中区の施設一体型小中一貫校に関する予算は計上するのか伺う。

答 現時点では調整中である。

問 議会には議決の責任がある。概算金額が示されてから、しっかりと審議できる期間はあるのか伺う。

答 資材高騰等の影響もあり、現在川中区の校舎の位置等を精査している状況。早い段階で概算金額を示せるように努める。

問 新築校舎等に莫大な予算を使ってしまうと、町の財政状況では今後教育で一番重要なソフト面に回す予算が無いと思うが。

答 総合的に検討していく。

物価高騰対策

問 現在の物価高騰による町民生活への影響について伺う。

答 町民生活全般に極めて大きな影響が出ているものと認識。

問 町の中小事業者も含めて、町民全体に物価高騰の影響が出

ている。町は町民生活を守るといふ考え方が大切である。国の物価高騰対策である重点支援地方交付金の活用方法について伺う。

答 現在事業選択について鋭意検討している。

職務分析と人材育成

問 職員の資質向上は重要である。生産性のある組織の構築が求められているため、経験豊富な7級職の役職降任者を講師とした職員研修が必要ではないか。

答 ご指摘のとおりなので検討する。



基礎学力向上のために、教育の中身に財政投入すべき！

まちづくりの根幹となる都市計画に課題が多い

答 人口密度や公示地価の目標値を下方修正する



長瀬 衛

問 平成29年に20年後を見据えて策定した都市計画マスタープランと立地適正化計画は町づくりの根幹である。改定にあたり、達成状況を検証した上で人口推

計等を配慮した土地利用による効率的持続性のある町づくり方針を求める。特に、超高齢化社会における都市機能の無秩序な拡散・散財ではなく、法に沿ったコンパクトな集約的都市構造の実現を目指すべきだ。当時、「県内で一番、高い精度である」とNHKや大手新聞も注目している」と喧伝していたが、目玉のコンパクトプラスネットワー

クなどあらゆる計画目標が課題だらけである。

答 人口密度目標の1ヘクタール65人を53人に下方修正し、公示価格上昇率10%は8・5%に下落した。

問 本計画は、議決案件ではなく、策定手続きにおいて最後の砦となる都市計画審議会の答申を尊重しなければならない。9年前、「絵に描いたモチで終わらせない。机上の空論にしない」と決意したが、都計審の答申内容はどうかだったのか。尊重しないのなら手続きの意味がない。

答 都市計画道路川越坂戸毛呂山線の整備要望に全力を挙げることで、目白台地区に適切な事業を検討すること等の意見があった。

問 特措法は、中心市街地の空洞化防止の具体的な施策によるコンパクトなまちづくりを求めている。居住誘導が終了した市街化調整区域への優良田園住宅制度は厳しい基準や時代背景の違いがあり、全国的に殆ど導入事例はない。

答 人口減少対策として導入に向けて進めていく。



「机上の空論」で終わらせてはいけないコンパクトなまちづくり

中学校準備金の支援を

答 じっくり考え進めていきたい

荒木かおる

問 物価高騰の波は子育て世帯の家計を圧迫しており、中学校入学に伴い、制服や体操着、学用品等、高額な支出が発生する。子育て世代の定住促進の観点から、支援を検討していく考えは。

答 他自治体では上限額を定め、教材を学校の備品として整備し、保護者の負担軽減を行っているところもある。他自治体の取組を参考に参る。

問 入学準備金のような支援を実施するお考えは。

答 財源の関係もある。保護者の方々に意見を聞き、じっくりと考えながら進めていきたい。

問 入学準備金のような支援を実施するお考えは。

答 財源の関係もある。保護者の方々に意見を聞き、じっくりと考えながら進めていきたい。

避難所環境充実等の効果検証

問 本町は全ての学校体育館へのエアコンを導入したが、近隣自治体の状況は。

答 近隣自治体では本町のみ。

問 中学校体育館エアコンの熱源はガスを選択した。10月川角中で実施した防災訓練でバルクタンクのガスを利用した炊き出し訓練が行われたが災害時、どの程度の炊き出しができるのか。

答 常時300㎡から400㎡を維持するよう心がけており、防災訓練では80合160人分の米飯調理を行い、ガス使用量は調理釜1器0・9㎡だった。少

問 常時300㎡から400㎡を維持するよう心がけており、防災訓練では80合160人分の米飯調理を行い、ガス使用量は調理釜1器0・9㎡だった。少

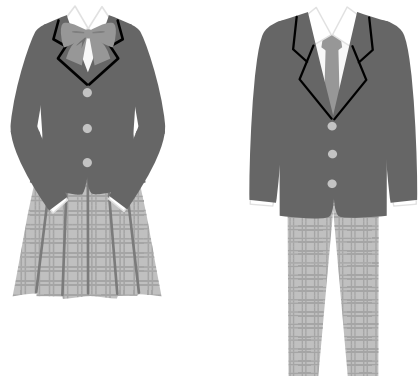
なくとも同じ調理を300回以上できる計算となる。

問 各地域で毎年防災訓練を実施している。住民への防災啓発の観点から、地域が実施している防災訓練で災害用トイレトラック貸出しの希望があった場合、貸し出しや展示等は可能か。

答 地域防災訓練への貸し出し対応については自動車保険の運転手が役場職員に限定されていることから役場職員が運転し、訓練会場に展示することで防災啓発を行って参る。

問 各地域で毎年防災訓練を実施している。住民への防災啓発の観点から、地域が実施している防災訓練で災害用トイレトラック貸出しの希望があった場合、貸し出しや展示等は可能か。

答 地域防災訓練への貸し出し対応については自動車保険の運転手が役場職員に限定されていることから役場職員が運転し、訓練会場に展示することで防災啓発を行って参る。



中学入学時は高額な支出が発生

いじめは絶対許さないとの強い意思表示を

答 生徒自らいじめ撲滅宣言を行い取組んでいる

千葉三津子

問 令和6年度の不登校状況は小学校が19名で中学校が46名だ。7年度1学期では、小学校が昨年の同時期より増加している。児童生徒が安心して学ぶことができる環境づくりが急務である。

答 各種相談員の配置による教育相談体制の充実と小学校校内支援センターの設置は実際に十分な相談体制になっているのか。複数の相談窓口があるとい

問 各種相談員の配置による教育相談体制の充実と小学校校内支援センターの設置は実際に十分な相談体制になっているのか。複数の相談窓口があるとい

うことは安心感に繋がると思う。一人一人の状況にあった相談体制がとれるようにしている。

問 アンケート調査にタブレット端末を用いることで他の児童生徒の目を気にしないで相談しやすい体制を整えているとのことだが、日頃の悩みや困りごとについてもタブレット端末で相談できる仕組みの導入の考えは。

答 県では24時間受付のSNSで相談できる窓口を開設している。一人一人の悩みを相談し易い体制を今後更に研究していく。

問 アンケート調査にタブレット端末を用いることで他の児童生徒の目を気にしないで相談しやすい体制を整えているとのことだが、日頃の悩みや困りごとについてもタブレット端末で相談できる仕組みの導入の考えは。

答 県では24時間受付のSNSで相談できる窓口を開設している。一人一人の悩みを相談し易い体制を今後更に研究していく。

問 障害者手帳のカード化は県でも行っていないようだが、障

害者向けの民間事業者アプリ「ミライロID」の活用を過去にも質問をした経緯があるが現状を伺う。

問 ミライロIDは県内でも複数の自治体が周知をしていて利便性でも有効と考

害者向けの民間事業者アプリ「ミライロID」の活用を過去にも質問をした経緯があるが現状を伺う。

問 ミライロIDは県内でも複数の自治体が周知をしていて利便性でも有効と考

超高齢化が急速に進行するなかで、民生委員を取り巻く活動環境や負担軽減などの推進が今後益々必要ではないかと思うが如何か。

問 超高齢化が急速に進行するなかで、民生委員を取り巻く活動環境や負担軽減などの推進が今後益々必要ではないかと思うが如何か。

答 環境整備や負担軽減に今後更に努めていきたい。



強い決意で不登校・いじめ問題の解消に取り組むべき

私道の町道化の進捗状況は

答 条件に合うか確認して進めている



小野 浩

問 私道の町道化の進捗状況は。
答 寄附採納の要望を受けたら、条件に合うか確認して進めている。

もろバスのベンチ

問 もろバスのベンチ設置の進捗状況と今後の予定は。
答 今回、前久保中央公園と日生団地公園停留所に設置した。高齢者や身体の不自由な方を始め多くの方の負担軽減が図られると考える。今後も計画的に設置を進めていきたい。

町の公園の除草

問 町の公園除草について伺う。
答 町内に60箇所の公園がある。

町管理の公園では概ね2か月に一度の頻度で除草作業を行っている。今年度は前久保中央公園で遊具等の整備を予定している。

デマンドタクシー

問 もろバス増便後の利用状況、町の声とデマンドタクシーとの並行実施へ見通しはどうか。
答 利用者は前年同時期と比較して127・9%増加している。先進地の導入状況を踏まえ、本町に見合った導入について引き続き鋭意検討を進めていく。

学校統廃合

問 計画案の見通しの結果はどのように出されるのか。

答 1月までに議会に編成計画全体の概算費用を提示する。

問 川角中学校区の小学校に体育館もプールもないのは偏った町政ではないか。
答 低学年の体育授業は内容に応じて武道場で行える。

問 一体型は、移住定住促進と真逆の施策ではないか。
答 編成計画を推進し両中学校区がそれぞれの特色を生かし魅力ある学校づくりを行い町の魅力増大につなげる。

問 一体型は、移住定住促進と真逆の施策ではないか。
答 編成計画を推進し両中学校区がそれぞれの特色を生かし魅力ある学校づくりを行い町の魅力増大につなげる。



私道の町道化で安全・安心な道路に

創成舎の為に、町が全額負担する総人件費は

答 令和2年度から総額およそ5千万円



中村 奨平

問 年間いくらずで庁舎の部屋を事務所利用させているのか。
答 年額約12万円。

問 創成舎は民間企業が74%出資する営利企業。庁舎の目的外

使用条件は、法では公共団体が公共的団体が行う公共公益事業などに限られている。また、令和2年度から町職員を出向させているが、創成舎には社員が一人もおらず、出向する町職員のみである。仮に職員の能力開発を目的とするのであれば、もったいなくとした企業がある。なぜ常勤役員もおらず、社員もゼロの創成舎にだけ出向を続け

るのか。加えて、労働力の供与を受けている創成舎が人件費を負担せず、全額町が負担している。これは利益供与であると考え。コンペも行わず創成舎のみに町のふるさと納税に関する事務を委託しているが、職員の人件費分も経費に入れると他の民間会社へ委託するより内製化した方がずっと安く済む。そして、創成舎に流れたお金は株主の利益となる。改めて創成舎は株式の74%を民間企業が出資する営利企業である。いまや売り上げの大半を太陽光発電事業が占めており、これをやればやるほど

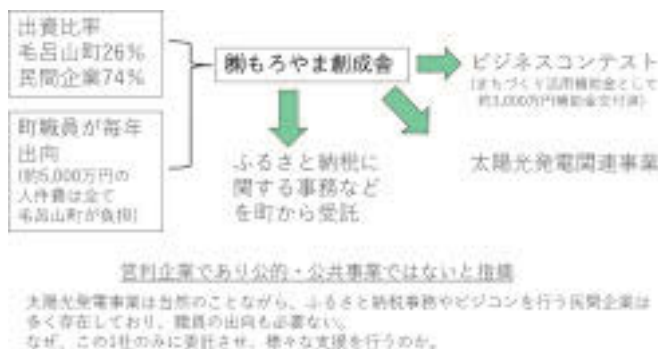
公的事業ではなくなっている。このような状況下で、創成舎だけに委託し、事業継続していくことは健全ではないと考えるがいかが。

問 他団体との統合等も検討。改めるところは改める。
答 男性へのH P Vワクチンの接種補助は。

問 慎重に検討する。

問 川角駅南側は令和9年度に完成予定。北側整備の詳細な検討を始める時期にきたのではないか。計画は。

答 学園口の整備効果を見定めながら検討する。



設立来、総額約1億円が創成舎に流れる



「狙われる住宅」防犯補助拡充を！

答 見直しを検討。安全・安心なまちづくりを進める



下田 泰章

問 県内で住宅を狙った窃盗事件が増加し、町内でも被害が発生している。町では人感センサーライトと防犯カメラのみを対象とした防犯対策補助金を設け

ているが、特殊詐欺の手口が巧妙化するなか、近年の防犯に対するニーズは多様化している。迷惑電話防止装置など、防犯機器は多岐にわたっており、現行制度は実態に十分対応しているとは言えないと考えるが。

答 防犯に関する資料をもとに防犯対策機器の追加を行い見直しを検討する。

公共施設使用料見直しの影響

問 公民館のサークル活動や総合公園体育館トレーニングルームなど、日常的に利用する高齢者からは「値上げで利用しづらくなる」との声が寄せられている。高齢者の健康増進や地域コミュニティ維持のため、利用しやすい環境を確保することが重要と考える。高齢者への減免制度について伺う。

答 使用料の見直しは、受益者負担の公平性と安定した行政サービス維持のために必要なもの。減免制度は効果がある一方で、財政面から慎重な判断が求められる。しかし、高齢者の健康づ

くりや生きがいづくりは重要であることから、今後は近隣自治体の状況も参考に、減免を検討し、利用しやすい施設づくりに努める。

行政が描く自治会運営の未来図は

問 少子高齢化により自治会活動維持が危ぶまれている。国の財政措置がある「集落支援員」を、自治会運営や地域課題解決の中心として導入する考えはあるか。

答 自治会維持への不安を踏まえ、調査検討し、より良い制度整備を進めたい。



増加する児童生徒の自殺対策は

答 原因の早期把握と早期支援に努める



佐島 啓晋

問 児童生徒の自殺が過去最多となり、原因は進路問題が8・5%で、友人関係の悩みや学業不振よりも多く極めて憂慮すべき状況にある。義務教育におけ

る職業教育は、将来の進路選択能力を養うため、各教科の学習を通じて仕事への関心を高め、社会や産業の変化を理解することを目指す、と言われているが、適正よりも成績重視ではないかと考えられる。学習指導要領における生きる力や社会の多様性が重視される中で、どのような対策をしているか。

答 中学校における進路選択に

あたっては、生徒一人一人の能力・適正、興味・関心及び本人の希望等に十分配慮している。自己理解と自己決定を促し、生徒自身が将来の生き方を主体的に考え、生徒自らの意思と責任で進路を選択決定できるよう、キャリア教育の意義を踏まえた指導・援助に努めている。

問 人生は夢破れてから立ち直ることに醍醐味があるが、再チャレンジができることへの指導は。

答 人生には様々な困難がある。学んできた様々な蓄積をもって克服し、自信をもって人生を歩んでいける支援をする。

問 自殺に対する対策は。

答 保健センターでは、子どもの命を守る対策として、子どもの変化に気づき、支援につなげる「ゲートキーパー養成講座」を実施している。今年度は、教職員や学童職員、ジュニアアスリートなどの子どもに関する支援者を対象として28名の参加があった。小中学生の自殺者が増えると言われている夏休み明けの時期に、相談窓口に関するチラシを町立小中学校を通して配布し、周知を図った。



学校での進路問題は一生を左右する！

- ① 自宅撮影を目的とした防犯カメラの購入及び設置
- ② 屋外人感センサーライトの購入及び設置
- ③ モニター付きインターホンの購入及び設置
- ④ センサーアラームの購入及び設置
- ⑤ 防犯フィルムの購入及び設置
- ⑥ 防犯ガラスの購入及び設置
- ⑦ 防犯性の高い錠または補助錠の購入及び設置
- ⑧ 防犯砂利の購入及び散布
- ⑨ 面格子の購入及び設置
- ⑩ 詐欺被害防止電話機器の購入及び設置

越生町の補助対象となる防犯対策事業

団地の再生モデルをどの様に構築していくのか

答 団地内のインフラ改善など地道に実施していく



佐藤 秀樹

もに空き家の増加が進行するものと認識している。

問 コンパクトシティ構想の現実と中心市街地・団地の再構築について、空き家・空地の現状認識は。

答 少子高齢化や人口減少と

問 コンパクトシティ構想の目白台地区において、これまで自動運転バスや企業誘致などの取組に住民が期待を寄せられた一方、撤退により失望もしている。続けるのであれば、今度こそ確実に実現を図るという町の強い意志をどの様に示していくのか。

答 県道岩殿岩井線沿いに商業

施設の立地を可能とし、スーパーやドラッグストアなどの生活利便施設の立地に向けて取り組んでいる。

問 団地は駅周辺の都市構想の中核を担い、老朽化・高齢化・災害リスクといった複合的課題を抱える地である中、団地の再構築は町の将来像を描くうえで避けて通れない最重要課題の一つと考える。そこで町として団地の再構築をどの様に政策的に位置づけるのか。

答 不燃化促進事業や団地内のインフラの改善など個別の取組を地道に実施していく。

公共施設使用料

問 毛呂山町行財政改革プランに沿って公共施設使用料の見直しの条例改正案が上程された。毛呂山町に納税している地域住民に対するサービスを維持していく為にも減免要件の見直しを図るべきと思うが。

答 必要と考え検討する。

問 施設修繕の軽減化を図る上で各施設利用に対する用途規則の見直しも必要と思うが。

答 維持管理の効率化が図られるよう検討する。



令和8年改定される都市計画マスタープラン

窃盗事件多発!!町の防犯対策は

答 回覧やメールで注意啓発を実施した



高橋 達夫

問 町内で深夜から朝方にかけて一般住宅を狙った窃盗事件が多発している。その詳細と町の防犯対策について質問する。

答 被害の詳細を管轄する西入

階窓や雨戸を壊して侵入している状況だ。この被害をきっかけに、西入間警察署では夜間パトロールを強化しており、町では町民に注意を促すため、回覧や防災無線で注意啓発を実施した。

問 泥縄という話もあるが、町の対応は余りにも遅すぎないか。熊の出没はすぐメールで連絡が来るが泥棒も怖い。町行政の一番の責務は何と考えているのか。

答 町行政の一番の責務は町民の生命と財産を守ることである。

問 高市政権が誕生!!町への影響は

答 高市総理の経済対策は「責任ある積極財政」である。それにより物価対策として11・7兆円、地方自治体向けの重点支援交付金は2兆円を予算化すると聞いている。町ではこの交付金がいくら来てどのように使う考えか。

答 町では2億7千万円程を見込んでいます。

問 町は生活者の物価高騰支援に重点を置き、学校給食費無償化事業等を視野に入れている。

答 町長はこの交付金でおこめ券配布の考えはあるか。

答 おこめ券の配布について今は考えていない。



町内で多発する窃盗事件

学校編成計画(統廃合)は決定していない!

答 議会への「設置条例」提出時期は未定である



岡野 勉

問 学校編成に関わる基本設計の結果開示が年明けと聞いている。では、その結果を受けた新たな「小中学校設置条例」の議会提出はいつになるのか。

答 調査結果の公表は年明けになる。また、小中学校設置条例の議案提出は現在未定である。

問 9月議会と同じ答弁だ。現段階では「学校編成計画」は議会に未提出で議決決定されていない。議員も重要な議案だけに準備も必要だ。3月の予算議会前に臨時議会を開くのか。

答 議会の招集については町長に委ねられている。しかし今の

所、教育委員会からの知らせがないので答えを控える。

今後のスケジュールは設計結果を基に図面、費用、校舎の配置など、充分精査。日程など確定しだいお知らせする。

問 毛呂山町の学校統廃合を考える上で重要な前提があると思う。それは県内一の完全失業率の高さと県内一の生活保護率の高さで、ここ数年高止まりしている。この事は子ども達にとって大変厳しい生活環境だ。

ここで、第一に求められる教育環境は少人数学級で子ども達に寄り添ったきめ細かな指導で

あつて、一体型ではない。

答 町の教育の目標は安全安心な学校で、多くの仲間達と切磋琢磨の場を設ける。そして心も体も鍛える。

今後どの子にも等しく学びの場を設けていきたい。

問 一体型小中一貫校ではいじめ・不登校など必ずリスクを伴う。何と85%の保護者が先生の削減を危惧している。ぜひ学校の当事者である子ども達の声を正面から聴くべきだ。

答 丁寧な説明を基に子ども達の声を聞いていきたい。

少子化対策では群を抜いている

答 今後も周知徹底をしていく



澤田 巖

ど好評を得ているが今後の方向性や検討している点はあるか。

答 少子化の背景にある若年層の経済的不安の軽減等の対応として継続予定。今年度から定住促進補助事業は拡大、本町への定住を促進。奨学金返還支援事業は数年経過しており事業の評価検証をし、より効果的な事業になるように改善していく。

問 現在本町では保育所や小中

学校の給食費無償化事業、今年度から第2子保育料無償化、中学校の修学旅行費補助事業など近隣自治体と比較して群を抜いている。SNSの時代、本町の少子化対策等をアピールし周知をより強化すべきだと考えるが。

答 より多くの方に町の取組を知っていただけるように秘書広報課を中心に関係各課が連携して動画やSNSを重視しシティプロモーションをしている。1人でも多くの方に本町に定住してもらおう人口増の戦略を実行中。

伝統文化財への支援策

問 本町には流鏝馬祭り、獅子

舞やお囃子など数多くの文化財が存在する。保存団体は後継者問題、団体の高齢化や資金的な問題を抱えている。行政としてできる伝統文化継承の策は。

答 継承に必要な衣装や楽器の購入、修繕に対して基金の斡旋や情報提供を過去に各団体が利用している。今後も各団体の取組を共有し情報交換の場を作ることが継承の一助になると考えている。行政が保存団体の要望や悩みを聞く場を作る。

毛呂山町の少子化対策事業

未来応援奨学金返還支援事業

定住促進補助事業

保育所・小中学校給食費無償化事業

中学校修学旅行補助事業

第2子保育料無償化事業

各事業の詳細等は
毛呂山町のホームページを御覧下さい



より強力な【周知】が必要!



児童生徒のためには小中別々がよい

●議案の審議結果（12月定例会） ○は賛成 ×は反対 討は討論 議は議長

議員名		中村	佐島	小野	下田	澤田	佐藤	荒木	千葉	岡野	高橋	長瀬	堀江	平野	審議
議案		俊平	啓晋	浩	泰章	蔵	秀樹	かおる	三津子	勉	達夫	衛	快治	隆	結果
一部改正	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例・町長及び副町長の給与等に関する条例及び教育委員会教育長の給与等に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	議	原案可決
	職員の給与に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	使用料及び手数料の改定に伴う関係条例の整備に関する条例	○	×	討	×	○	○	○	○	×	○	○	○	議	原案可決
補正予算	一般会計（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退席	×	退席	議	原案可決
	国民健康保険特別会計（第3号）・水道事業会計（第1号）・農業集落排水事業会計（第1号）・介護保険特別会計（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
指定管理	福祉会館の指定管理者の指定	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
人事	教育委員会教育長の任命	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	同意

●議案の審議結果（12月臨時会）

補正予算	一般会計（第6号）	（修正案）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	修正可決
		（修正部分を除く原案）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	
	水道事業会計（第2号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決

表彰

埼玉県知事表彰

佐藤 秀樹 議員

教育委員会教育長（再任）

高沢 佳弘

人事

入間郡町村議会議長表彰

（在職10年以上）

平野 隆 議員
澤田 蔵 議員
下田 泰章 議員



昭和34年10月生
鶴ヶ島市大字脚折

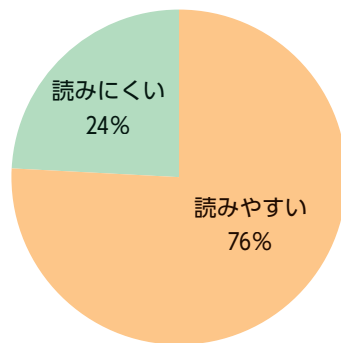
議会だよりに関するアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

頂いた貴重な意見や要望は議員全員と共有し、より良い議会だよりを編集してまいります。

議会だよりは読みやすいですか

読みにくいと答えた方の理由
（一部抜粋）

- ・行政の課題がはっきり明示されていない
- ・字ばかりだし、堅苦しい
- ・あまり見る気にならないから



読みやすいと答えた方の理由
（一部抜粋）

- ・限られた配色を上手く使用している
- ・他の区市町の議会報告書と見比べて毛呂山町は表題などに視覚的効果があって見やすいから読みやすい
- ・グラフ、表、写真などを用いた説明があるので、理解し易い

アンケート回答結果の全文はこちらでご確認いただけます。



回答数45件

あとかき

町民の皆様におかれましてはご健勝にて新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。今年も午年。さらに60年に一度しか巡って来ない丙午。馬は常に前向きに進む姿から発展や成長、努力が実を結ぶ年とのこと。毛呂山町も伝統の流鏝馬が行われることから馬と深い関りがある町。今年も毛呂山町にとっても大きく発展するチャンスのある年であることを期待したい。そして町民皆様にとりましては日々の努力が実を結ぶ輝かしい一年になることを心よりご祈念申し上げます。

荒木かおる

編集委員

委員長 下田 泰章
副委員長 中村 奨平
委員 佐島 啓晋
委員 小野 浩
委員 佐藤 秀樹
委員 荒木 かおる
アドバイザー（議長） 平野 隆